

3階西病棟の1年を振り返って

3階西病棟看護科長 工藤 仁美

平成14年の3階西病棟の看護活動は、安全と接遇を念頭に置き、そして4月オーダリングシステム導入を踏まえ以下の看護目標で活動を開始しました。

看護目標

1. 安全で確実な看護を提供する。
 - * 指示を確認・手順を守る・マニュアルの励行
 - * 声だし確認・声の掛け合い
 - * 事故発生時は共通認識、再発防止
 - * 事故情報は、みんなの共有財産
 - * 詰所内の整理整頓
2. 看護を継続する。
 - * 計画に基づいた看護記録。
 - * カンファレンスの充実・励行
 - * 退院指導の充実。
3. 満足を提供できる接遇を模索する。
 - * 3階西病棟（おかあさんと子供の病棟）としての納得できる接遇の構築
4. ME機器に親しみ、正しく活用する。
 - * 各種機器を知り正しく使う。
 - * 始業点検と後始末を確実に
 - * オーダリング操作に熟練し、看護に活用できる。

以上の目標のもと3階西病棟では、患者様に満足頂けるよう看護をさせて頂きました。ただ、多様化する患者様のニーズと入退院の激しい繁雑な業務の中にあつて、各々の患者様に満足頂くには、まだまだ努力が足りないと思つた反省が残る1年でした。

入院患者の動向

3階西病棟の1年間の総入院数は1839名（産婦人科881名・小児科958名）。両科とも在院日数が短く平均で約7.6日となり、入院退院の繰り返して1年が過ぎていきました。

産科における分娩件数（12週以降の死産及び帝王切開分娩も含む）は495件（初産242・経産253）です。名寄市208名を筆頭に枝幸町47名・美深町46名で全体の約60%を占め、後は近隣町村・道北圏から99名、道内各地からの里帰りは79名、道外からの里帰りは16名で最も遠方の方では、熊本県からの方もおられました。

手術件数は3階西病棟入院扱いで279件、そのうち帝王切開は55件と1昨年と同数です。日帰り入院の子宮内用清掃術（中絶手術含む）85件とかなりの数があり、在院日数短縮に貢献していると考えます。その他、現疾患はさまざまですが、子宮・卵巣の摘出手術が92件・その他43件でした。他の患者様としては、切迫流産管理・化学療法などです。

小児科入院患者総数は958名（一般800名・新生児158名）、一般の入院理由としては、呼吸器疾患（炎症性のほか、喘息含む）546名・胃腸炎94名をあわせて80%を占め、他には髄膜炎・痙攣も目立つ年でした。小児科の在院日数は、平均5.4日と短く、出入りがはげしく目まぐるしい毎日です。新生児入院の内訳は、高ビリルビン血症89名・低出生体重児39名・呼吸障害23名などです。

こんな落ち着かない賑やかな病棟ですが、スタッフみんなと協力し、固定チームナーシング導入に向けて努力していきたいと思つています。